

Gさんのプロフィール

職業	事務職
性別	女性
年齢	57歳
婚姻	未婚
同居家族	なし

けに、これから、どのように生きていくか考え始めている。
これまででは、仕事に多くの時間を充ててきたが、これからは、
自立のためにこれまでの経験や人脈を生かしたり、全く新しい
チャレンジをしたりしながら、誰かの役に立ち、充実した日々を
送ることのできる生き方を探したい。
理想の生き方を実現させるために、配慮したほうがよいことや
選択できる働き方、社会との関わり方がわからず悩んでいる。



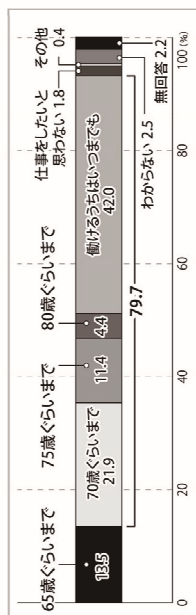
クラス： 番号： 氏名：

●Gさんのライフプランニングのために、課題となりえるのはどのようなことでしょうか。下のグラフや文章も参考にしながら読み取り、ワークシートに書きましょう。

高齢期の自立した生活に向けて

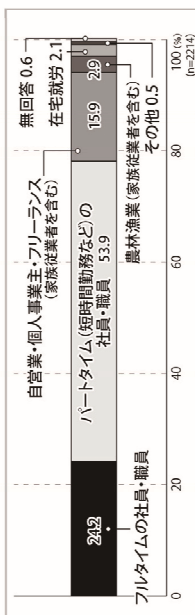
人生100年時代
に向けた
社会の変化

日本人の平均寿命は、2015年に女性87歳、男性81歳と、男女共に80歳を超え、2065年には、女性91歳、男性85歳と、このまま延び続けると予測されています。
平均寿命の上昇に伴い、近年では、65～74歳までは心身の健康が保たれており、活発な社会活動が可能なが人が大多数を占めていることなどから、75歳以上を高齢者の新たな定義とすることも提案されています。
これからは、人生を「教育⇒仕事⇒引退」という3ステージとしてとらえるのではなく、どの

■高齢者の就労を希望する年齢
(何歳ごろまで収入を伴う仕事をしたいか)

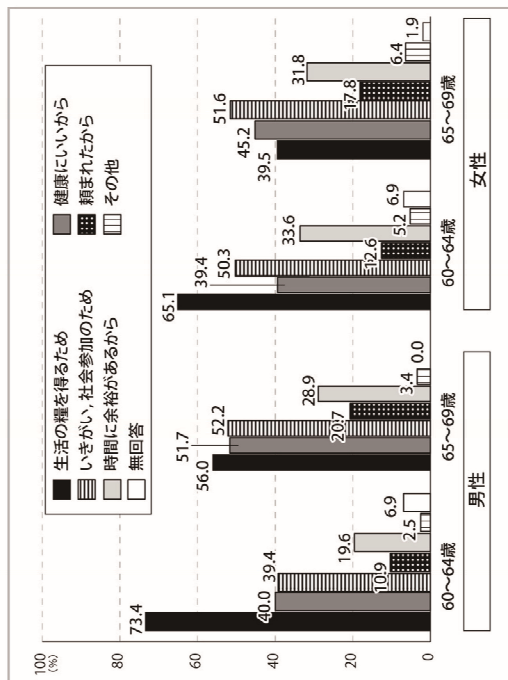
出典：「平成26年度 高齢者の日常生活に関する意識調査」(内閣府)

■60歳以降の希望する就業形態

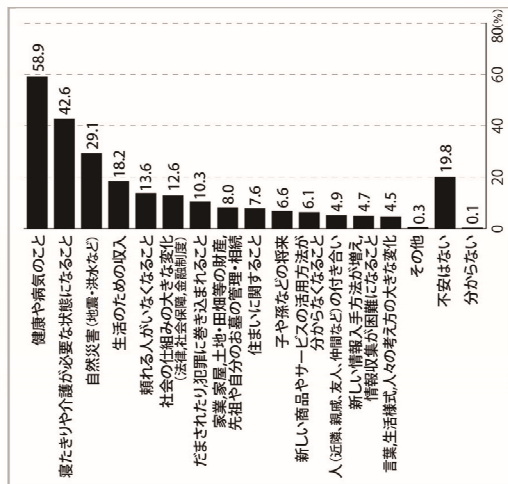


出典：「平成25年度 高齢期に向けた「備え」に関する意識調査」(内閣府)

■高齢者の就業理由

出典：「高齢者の就業理由、就業意欲に関する調査」平成23年
(独立行政法人労働政策研究・研修機構)

■高齢者の日常生活の不安



出典：「平成26年度 一人暮らしの高齢者に関する意識調査」(内閣府)